

令和元年5月28日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■景況について

企業の3月期決算がおおよそ出そろった。GDPや貿易統計など政府統計も発表されたが、内容を見ると、中国経済の減速や米中の貿易摩擦、原油価格・原材料価格の高騰などが、実体経済に影響を及ぼしているのが伺える。中国の経済成長を取り込むことで成長を続けてきた日本企業にとっては、難しい舵取りに迫られている。

京都においても、昨年末頃からスマートフォン部品や半導体関連など、製造業を中心に収益環境が悪化している一方で、宿泊や飲食などのサービス業では国内外の観光需要が好調に推移している。実際にこのゴールデンウィーク中のホテル稼働率が98%程度と非常に高く、訪日観光客数が4月までで1000万人を超える過去最高のペースで訪れているなど、業種により景況感にまだら模様が見られる。

5月の月例経済報告では、「緩やかに回復している」としながらも、通商問題が世界経済に与える影響に一層注意するとの警戒感が示された。米中貿易摩擦や日米の通商交渉、中国経済の減速懸念などから、企業のマインドが過度に悪化し、設備投資の縮小など実体経済にさらに悪い影響を与えないように、企業も自助努力をしなければならない。

米中貿易摩擦については、双方が新たな関税措置に踏み切るなど状況は緊迫している。両国の消費者だけでなく、世界の部材供給網にも大きな影響がありそうだ。中国へ部材等を輸出している京都企業も数多くあり、今後の推移によっては、中国経済の一層の悪化にともないさらに大きなダメージとなる可能性がある。政府には、海外の政策の不確実性が日本企業に与える影響を最小限にとどめるとともに、10月の消費増税を踏まえながら、内需が腰折れしないような思い切った景気対策を実施してほしい。

京都商工会議所の動き

■次期3号議員について

次期3号議員となる22人を、本日開催した常議員会で選任した。

現在の議員の任期は本年10月末で満了することとなり、今後150人の次期議員を選挙等で選任していくことになる。

業種や規模などを網羅するため、議員を選ぶ方法が3通りある。まず、10月に行われる会員による選挙によって76人が選ばれる「1号議員」、業種ごとに分かれる12の部会において選任され、7月に52名が決定する「2号議員」、そして、会頭である私が常議員会の意見を聞いた上で、選考委員会の意見に基づき選任する「3号議員」の3通りだ。

本日選任した3号議員は、業種・業態などを考慮し、本所が事業を推進する上で重要な役割を担っていただく議員として選任させていただいた。22人のうち、「株岡野組」と「株川勝總本家」の2人を新たに3号議員に選任した。両社ともそれぞれ「建設産業部会」と「小売商業部会」の部会長を長年お務めいただいております。次期は3号議員としてさらにご活躍いただけることを期待している。なお任期は、今年11月から3年間となる。

■京都経済 4 団体共同事業 経済センター開業記念講演会について

本所をはじめ、経営者協会、経済同友会、工業会の京都経済 4 団体では、京都経済センターに移転してはじめての共同事業として講演会を開催することになった。元陸上選手で、現在は実業家として活躍する為末 大 氏を講師に招き、「自分を育てる アスリートから実業家へ」をテーマに講演いただく。

為末氏は日本を代表するトップアスリートとしての実績で広く知られているが、競技生活引退後は実業家へと転身し、シェアオフィスの運営を行うなどビジネスでもダイナミックに挑戦を続けておられる。そうした為末氏のお話は、京都経済センターの重要な機能の一つである将来を担う起業家や産業人材の育成を考える上でも、大いに参考になると考えている。

次世代を担う若手経営者はもちろん、経営の革新や新たなビジネス展開にチャレンジしたいベテラン経営者にも役立てていただける内容となっている。4 団体の会員限定であるが、ぜひ多くの経営者、会員企業の皆さんにご参加いただきたい。

オープンイノベーションカフェ「KOIN」でも、「連携と協働」を促す様々な事業が展開されてきている。京都経済 4 団体としても、引き続き多様な知恵の連携や交流を生み出すために、京都経済センターの機能を活かした事業を企画していきたいと考える。

■京都府商工会議所連合会の機能強化について

府域全体の産業振興を図る京都経済センターの開業を契機に、京都府内の 8 つの商工会議所で組織する「京都府商工会議所連合会」の機能強化を図っていききたいと考えている。

具体的には「機能の連携」として、京都経済センターの交流・情報発信・支援機能を活用して、3 階の京都商工会議所のビジネスサポートデスク内に「サテライトデスク」を設置し、府内の会議所職員が利用できるようにしていく。また、中小企業応援センターや京都海外ビジネスサポートセンターと連携し、多様化・複雑化する中小企業の経営課題に対して関係機関との一体的な支援を可能にしていく。

また「人の連携」としては、これまでも実施していた研修事業をさらに拡充し、支援員同士のネットワークをさらに強化するとともに、それぞれが持つ支援ノウハウを共有し、職員の資質向上と支援力強化を図っていく。

さらに「支援の連携」として、各会議所が取り組む販路開拓や創業などの支援事業を共同化し、相乗効果を高めていく。マッチング商談会や知恵産業フェアなどは、府内各地の魅力のある商品をそろえることで、集客の面でも効果が期待できる。

今年度の事業計画は、5 月 29 日に開催する総会で決定する予定だ。これまで以上に府内会議所が連携して中小企業の支援にあたり、京都経済の活性化に向けて取組を進めていきたいと考えている。

記者からの質問事項

■米中の貿易摩擦や中国経済の減速が懸念されているが、今後の影響をどう見ているか。

ファーウェイ製品の禁輸措置に係る影響を含め、今後の見通しについて関係する京都企業数社にヒアリングを行ったところ、今のところ各社とも影響を受ける製品を精査しているところであり、警戒感を持ちつつ今後の米中貿易協議の動向を注視しながら、法令順守を基本として対応していくということだった。今後の展開によっては、大手にとどまらずその下請けとなる中小企業も大きな影響を受けることになり、本所としてもその動向を注視していきたい。

■日本電産とオムロンによる M&A など、各企業は様々な成長戦略をとっているが、これをどう見るか。

本件について、私自身がオムロン名誉会長という立場であるため、個別の発言は控えさせていただきます。

米中の貿易摩擦激化や、TPP・日欧 EPA の発効など、グローバルな企業を取り巻く経済環境は、日々めまぐるしく変化しており、各企業は自社の成長に向けて努力を重ねている。大企業だけでなく中小企業においても、成長に向けたチャレンジを積極的に進め、自社の強みをいかして成長を続け、世界に羽ばたく企業が京都から数多く生まれることを期待している。

■門川市長が「京都市内の宿泊施設数は満たされつつある」と発言されたが、会頭は現在の宿泊施設の環境をどうみているか。

私自身も門川市長のご発言内容に近い感覚を持っている。既に開業した宿泊施設に加え、今後さらに相当数の開業が予定されており、これらを総合すると、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えても、これからのインバウンド客数を受け入れることができるだけの「数」は確保できつつあるのではないかと考えている。

一方で、富裕層を受け入れるための質の高い宿泊施設が、まだ足りないのではないかと感じている。これからは数ではなく「質」を求めて宿泊施設を誘致していくことが重要だ。観光による経済効果を高めていくためにも、上質な宿泊施設の整備に重点を置いた施策が必要となるだろう。

■ファーウェイ製品の禁輸措置による具体的な影響についてどう捉えているか。

先ほども述べた通り、各社とも状況を精査している段階であり、本所としては今後の動向を注視していきたい。

以 上

定例会頭記者会見



日時：2019年5月28日(火)14:00～14:30

会場：京都商工会議所 7-F 会議室

(京都経済センター7階)

1. 次期3号議員について . . . 資料①

2. 京都経済4団体共同事業 経済センター開業記念講演会について . . . 資料②

3. 京都府商工会議所連合会の機能強化について . . . 資料③

以 上

次期3号議員

(社名五十音順)

株式会社岡野組
才ムロシ株式会社
株式会社川勝總本家
関西電力株式会社京都支社
京セラ株式会社
株式会社京都銀行
株式会社京都新聞社
京都青果合同株式会社
京阪ホールディングス株式会社
月桂冠株式会社
株式会社島津製作所
第一工業製薬株式会社
宝ホールディングス株式会社
株式会社ト一セ
西陣織工業組合
西日本旅客鉄道株式会社京都支社
日本電産株式会社
任天堂株式会社
株式会社堀場製作所
村田機械株式会社
ロ一ム株式会社
株式会社ワコールホールディングス

(以上定数22人)

自分を育てる ～アスリートから実業家へ～

記者配布資料②

京都経済センターの開業を記念して、元陸上選手で現在は実業家として様々なプロジェクトを手掛ける為末氏をお招きし、講演会を開催します。

陸上スプリント種目で日本人初のメダルを獲得した競技生活や、アスリート引退後は実業家へ転身し、シェアオフィスの運営を行うなど、ダイナミックに挑戦を続ける為末氏のお話は、京都経済センターの重要な機能の1つである京都産業の未来を担う起業家や産業人材の育成を考える上でも、興味深い内容になると考えております。

京都経済4団体の会員の皆様には、下記の通り案内申し上げますので、奮ってご参加ください。

■日時 令和元年7月8日(月) 16:00～17:10

■会場 京都経済センター 7階 会議室AB

(京都市下京区四条通室町東入 地下鉄「四条」/阪急「烏丸」26番出口直結)

■講師 為末 大 氏

Deportare Partners 代表・元陸上選手



<講師略歴>

1978年広島県生まれ。スプリント種目の世界大会で日本人として初のメダル獲得者。男子400メートルハードルの日本記録保持者(2019年5月現在)。現在は、Sports×Technologyに関するプロジェクトを行う株式会社Deportare Partnersの代表を務める。新豊洲Brilliaランニングスタジアム館長。主な著作に『走る哲学』、『諦める力』など。

■対象 京都経済4団体(京都商工会議所・京都経営者協会・京都経済同友会・京都工業会)の会員

■定員 300名(先着順) ■参加費 無料

■申込 6月14日(金)までに、WEBにてお申込みください

(下記のURLまたはQRコードから、イベントHPをご確認下さい)

http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_111478.html



<留意事項>

※定員を超過した場合は、E-mail等にて参加不可のご連絡を申し上げます

※参加証等は発行致しませんので、参加不可の連絡がない場合は当日会場にお越しください。

※お申込み時に頂いた情報は、本講演会の実施・運営のためのみに利用致します。

【問合先】 京都経済団体協議会事務局(京都商工会議所 企画広報部 担当:山浦・田中)

TEL:075-341-9750 FAX:075-341-9793 E-mail:kikaku@kyo.or.jp



京都府商工会議所連合会 2019 年度事業

(構成商工会議所：京都・舞鶴・福知山・綾部・宇治・宮津・亀岡・城陽)

記者配布資料③

<運営方針>

府内商工会議所相互の連携を図るとともに、産業経済の改善発達に寄与することを目的に、2019 年度は次の項目に重点的に取り組み、府連機能の強化を図る。

○京都経済センターの拠点機能及び支援機能との連携による府内商工会議所のプレゼンス向上

○府内商工会議所相互のノウハウ等の共有促進と連携による会議所事業の充実

<2019 年度事業計画（案）及び強化事業について>

事業計画（案）

1. 府域の現状・課題の把握

- 会長による府内視察・懇談会
- 先進地等の「視察見学会」
- 府内会議所の「役員・議員懇談会」

2. 地域活性化に向けた協議・要望

- 京都府知事との懇談会
- 京都府商工労働観光部長との懇談会
- 府域会議所事業の情報発信（拡充）

3. 支援能力の向上

- 京都経済センター内活動拠点の設置（新規）
- 職員研修事業（拡充）
- 共同支援事業の実施（新規）
- 永年勤続 10 年表彰

強化事業 — クロス展開 —

● [機能の連携] 京都経済センター内での活動拠点等の設置

京都経済センターの交流・情報発信・支援機能を活用した事業の実施

- ・府内商工会議所職員を対象にした「サテライトデスク」の設置（ビジネスサポートデスク内）
- ・中小企業応援センター、京都海外ビジネスセンターとの連携
- ・集客・交流スペースを活用した情報発信事業の実施（オープンハウス・ショールーム等）



● [人の連携] 府内商工会議所職員の研修事業の拡充

府内商工会議所支援員を対象にした研修を実施し、支援員同士のネットワーク構築、支援ノウハウを共有

- ・先進事例の視察や支援事例等を共有する「管外研修」の実施

● [支援の連携] 相乗効果を高めるための支援事業の共同化

販路開拓、外国人雇用など共通支援課題をテーマにした事業の共同実施

- ・マッチング商談会／京都ギフトショー出展／外国人雇用セミナー等